

井戸端 通信

Vol.25 発行 平成16年8月8日

〒930-0096
富山市舟橋北町7-1
富山県民生涯学習力レッスン内
自遊塾倶楽部広報部

平成十六年度

自遊塾開講

「自遊塾」で心豊かな人生を



自遊塾 塾長
岡岸 喜義

自遊塾は、生涯学習の成果を伝えてみたいという人が県民教授となり塾生を募集して開く講座です。平成七年に十六講座三二四名でスタートしました。それが十年目の本年は、七十五講座一七六名になりました。これも諸先輩関係各位のたゆまぬご努力ご助言のおかげと深く感謝申し上げます。又この節目の年に塾長をさせていただき責任の重さをひしひしと感じています。

さて、自遊塾が誕生したころは、「ゆとり」をつくるうという運動が全国的に盛んに行われていました。個人が仕事や家庭、社会から課せられた義務より開放された時間に、ゆとりが生まれます。しかしどんなにゆとりが出来ても、無気力や怠惰に時間を過ごすことは、ゆとりではないと思います。従って自遊塾にかかわっておられる皆様方は、立派にゆとりを謳歌されているものと確信しています。

さらに中高年の心配事は、「健康」「経済」「心」「家庭」「交流」の五つだそう。志を持って自遊塾に入ればおおよそその心配が解決するような

気がします。新しい出会いからはじまる自遊塾、そして交流の輪を広げ快適で充実した心豊かな悠々人生をすこしましょう。
どうぞよりよき「自遊塾」にするために叱咤激励ご指導ご協力よろしくお願ひします。

自遊塾十年に寄せて

副学長 坂田 和明

富山県で全国生涯学習フェスティバルが開催されていた一九九四年（平成六年）の秋、自遊塾（仮称）設立の可能性をさぐるアンケート調査が、県内の勤労者二三〇〇人を対象に実施されました。

その結果、以下のことが明らかとなりました。

職業の違う異分野の人々との交流に関心のある人が85%にもものぼること。自遊塾について興味を持つ人が62%で、月一回、平日の午後七時、広い駐車場のある文化会館が、もっとも適切な希望条件であること。教えてみたい方が60名近くにも達していること等。こうした確かな手応えの上に、翌年自遊塾が発足したわけです。

以来十年、自遊塾は最大の受講生を擁する県民力レッスンの人気講座として定着いたしました。県内の市町村などでもそれぞれの特徴を生かした公募教

平成16年度 県民教授会役員紹介

塾長	岡岸 喜義
副塾長	岩田 元一
幹事	三辺 咲子
	加藤 利雄
	熊木 保子
	庄司 俊雄
	辻 美喜子
	松本 慎一
	桃野 重昭

どうぞよろしくお願ひします。

年次	講座数の推移
H 7	16
H 8	16
H 9	17
H10	37
H11	43
H12	37
H13	41
H14	60
H15	73
H16	75

授の講座が数多く展開されるに至っております。これもひとえに県民教授の方々の熱意と、塾生の皆様のご支援のたまものと感謝しております。

「ウォーキング冒険塾」は、「現代川柳入門」「創造的問題解決の手法」とともに、自遊塾発足以降継続開催されている講座の一つです。

いま私の手元に「ウォーキング冒険塾10年のあゆみ」という冊子が届きました。受講後さらなる活動を続けられた皆さんの収穫を綴った記念誌です。多くの方が歩きつづけて得た喜び、健康、友情、地域と郷土の再発見について語っておられます。一過性の歩こう会にはない、ウォーキング文化の創造を実感しました。

塾生の皆様が自遊塾での学びを契機に学習を継続され、生涯に連なる成果を獲得されることを祈念しております。

平成16年度 講座スタート

新たに講座を開いた
県民教授とその講座の受講生の
声を紹介します。

越

中山野草と温泉を楽しもう
橋本節子

初めての経験ですが、楽しく担当させて頂いています。受講生の方も、縄ヶ池では二輪草の風にゆれる様子を眺め、有峰では「一葉ラン」や「コケイラン」を発見して驚かれました。カメラに収める人、メモを取る人等様々です。野外活動の為、塾生の方に事故の無い様気を使う点はいろいろありますが、自然の素晴らしさと大切さを分かち合える喜びは格別です。先輩の加藤先生、高瀬先生のご指導を頂きながら、実り多い一年にしたいと思えます。

◆自遊塾に参加して

橋元 順子
初めて参加し、良い空気の中で散策は最高です。いままで見逃していた草にも名前が有り小さな花を咲かせていました。先生の説明を聞きながらだと結構歩いていてびっくりです。帰途での温泉も和気あいあい楽しく、次回に私の得意なクッキーを焼いて皆さんと焼いて思っています。



折

り紙・鶴の世界に挑戦
宮森 惠都子

初回の講座では、折り紙を通して、三つの心について話しました。

- 一、教わる心
- 二、考える心
- 三、教える心

鶴の基本折りの場面では、塾生同士がお互いに教えたり、教えられたりする場面が見受けられ、人の輪をモットーにの思いが生かされていました。

たかが鶴、されど鶴ですねという塾生さん達の声に後押しされながら、期待に添えるよう頑張りたいです。

◆折り紙・鶴の世界に挑戦を受講して

端 静香

知人の紹介もありましたが、人とのかわりとか、指先を動かすことで、ボケ防止とか頭の体操にもなると思いいこの講座に応募しました。

折り鶴は、すっかり忘れていました。思い出そうとしたり、考えたり、聞いたり、大変おもしろかったです。

あっとい間のなごやかな二時間でし。次回も楽しみです。



「U」で健康づくり!!

佐藤 亜紀

講座開設にあたり、定員をはるかに超えるご応募を頂き、この場をお借りしてお礼を申し上げます。心苦しくも抽選で20名選ばせていただき講座を開始いたしました。

未熟者ではありますが、私自身ヨーガと出会って身体だけでなく心も健康になり、今ある幸福

に感謝しつつ日々生活させていたを、新たに受講生の方々と伝統的ヨーガの知恵を共に学び、共感できればと願っております。



◆「おおらかに生きたい」

大谷 孝行

せかせかとあわただしい毎日、いつの間にか狭くなっていく視野、知らず知らず酷使してしまう身体、これらのことをもう一度見直してみたいと思い、佐藤亜紀先生の講座「ヨーガで健康づくり!!」を受講させていただきました。ヨーガの世界観が、自我や自分の身体をおおらかな視点から捉え返すのに必ず役立つと期待しております。

「も」っと紅茶を楽しみましょう

田村 信子

すべての「茶」は同じ茶樹(学名カメリアシネンシス)を原料に作られますが、製法の違いから緑のお茶と茶色のお茶になります。受講生は同じ興味を持った「仲間」ですが、一人一人が魅力的で茶的魅力な皆様です。趣味も多彩で県民教授の候補者ぞろい。一番楽しんでいるのは私かも(笑)。

出会は「心の引き出し」にためる目に見えないプレゼント。県民カレッジ事務局や先輩方、友人・家族の支えがあって実現した講座です。出会った全ての方にプレゼントを届けられたら幸せ!

◆「も」っと紅茶を楽しみましょう」に参加して

横澤 千鶴子

十数年前、職場で、同僚のイギリス人女性から紅茶を淹れてもらった。ミルクをたっぷり入れたお茶であった。それまで、紅茶と言えばストリートカレモンティーしか飲んだことがなかった。自分の偏狭な先入観から紅茶とミルクはミスマッチと思っていた。しかし、その柔らかな口当たり、さすが本場の味と感動した。

今年も自遊塾の塾生募集が始まったとき、何か一つはチャレンジしようと思いい、要項を隅々まで目を通した。そこで目にとまったのが田村信子先生の「も」っと紅茶を楽しみましょう」であった。紅茶の淹れ方を学べるだけでなく、紅茶の持つ文化、お国情報を学ぶことができ、そしてお菓子作りもできることが魅力だった。

これまでインドの紅茶を中心に味わったが、飲み比べてみると、香り、味、水色など、バラエティに富んでいることがわかる。

さらに楽しいことがある。関心と同じくする方たちとの出会いである。若い方が多いが、講師の先生をはじめ、実に明るく気さくな方が多く、色々な考え、生き方に触れることができる。こんなところにも生涯学習の魅力があるのだらう。



今後、インドに加えて、スリランカ、中国と様々な国の紅茶と接することができるようである。それぞれの風土、そして製法がお茶に様々な味、香りを与えているのである。どんな味わいがあるのかわかる。楽しみである。しっかりと習って美味しい紅茶を淹れることができるようになりたいものである。

知 知って得する生活情報

串田 和博

IT化などの進展によって私たちの生活は便利になりました。その一方で知っていないと損をしたり被害を受ける事も多くなりましたが、ちょっと視点を変える事で新たな発見や潤いを見つけて出す事も可能です。

このタイトルでお話をしようとしたのも、受講生となられる方々よりも、少しばかり長い人生と、異なる体験をしてきた私共が、少しでもお手伝いできればと思ったからです。

今回が初めてのことであり、不安感も有りますが、「参加してよかった」と思っただけの講座となりますように頑張ります。受講生の皆様方のお知恵も拝借しながら、共に学ぶ機会になる事を念じています。

◆「知って得する生活情報」を受講して

西川 悦子

日常の喜怒哀楽を伝えるに不可欠な電話にも、勧誘業者からの電話が紛れ込む昨今。これまで曖昧に対応しながらも、不安は増すばかり。そんな時に聞いたのが問題商法の実態と対処策などを分かり易く説明して下さった



第一回目の講座。これからの講座も楽しみに。終った時点で「目からウロコが落ちた」と実感したい気持ちで一杯である。

紙 粘土で作るかわいいお人形

山口 久枝

五年ぶりの講座です。一回目の時、親子で申し込まれた方がお子さんが小さい為途中で遠慮されました。ところが今回は小学二年生になって一緒に紙粘土をこねています。五年間の長さで重さに驚いてしまいました。今回は大人九名子ども三名の楽しい会になりました。全員役割を持ち人形作りと共に仲間作りもバッチリです。学遊祭の発表には色とりどりの可愛いお人形が並びます。ぜひご覧下さい。

◆「紙粘土で作るかわいいお人形」教室に参加して

日下 郁子

紙粘土について何の知識もなく、触れたこともない私は、軽い気持ちで応募しました。初めは慣れないこととどうなるかと思いましたが、講師の指導と周りの方たちの作品を参考にしつつも、四苦八苦しましたが、オンラインワンのお人形が出来つつあります。ここまでできますと新しいものに挑戦した喜びが湧いてきます。これからの完成が楽しみです。



自 然美の転写アート

中川 佳子

転写技術をもとに、手作りを楽しむ、生活を彩る新しいタイプの転写アート。単なるシールでなく、絵柄だけを貼り付けるこ

とができるなどの画期的な技術。



受講生がいろいろな絵柄を組み合わせて、重ね合わせたりして、オリジナルデザインした個性的な作品を見せあい、誉めあい明るい笑い声がひびく室内、知的で素敵な受講生の方々に会えて嬉しく思います。楽しく、笑いの多い講座に。

◆「陶器、木、Tシャツに転写しよう！」

上田 紀子

面白そうな講座に私の好奇心はむずむず。初回は一番乗りで出掛けたい。二回はポストカードに、Tシャツのプリントを転写した。自分の好きなシートを選んで作品に仕上げる。受講生は少人数なので和気あいあい講座の時間も短く感じられる。毎回違った作品に挑戦できるので、出来上がりをとっても楽しみにしている。

人 生への思考(論語の知恵)

高倉 知成

論語と聞くと堅苦しくて敬遠してしまうのがごく普通です。これは大変な思い違いでしょう。論語から伝わってくるのは現実的・日常的な人間味豊かな助言にあふれています。まさしく今を生きるための納得のいく知恵が宝石のように輝いています。塾では手作業や気軽に楽しめるものなどいろいろありますが、不滅の古典であり続ける論語に心静かに触れて、目からうろこを心地よく体験されることを願っています。気楽に語り合います。

◆「論語の知恵」を受講して

崎田 敏治

論語の文章(漢文)は日本文に比べると構造が非常に簡潔にできています。特に孔子の言葉は簡潔な中に深い味わいがありますから、これを正しく理解することは大変むずかしいことです。高倉先生のご指導のもと、人生経験が豊富なみなさんは、時代を超えて通じる名言に接し、感激したり驚きで毎回、楽しく勉強をしています。

鮮 度のいい生き方をしよう

山本 夕起子

「シャキット富士35」では、男女平等な社会の実現を目指し、従来のピラミッド組織ではなく、一人一人が自立して連帯するというネットワークによる活動を展開している。女性問題を解決して行く視点で、教育、福祉、NPO、環境、DVなどを専門的に取り組んでいる担当者(シャキットメンバー)による講座は、大変ユニークで、楽しいものである。塾生(30名)は、毎月一回の講座から多くのことを学ぼうと真剣である。

◆「鮮度のいい生き方」をめざして!

高橋 紀子

「鮮度のいい生き方をしよう」のタイトルに惹かれての受講。毎回変わる講師も魅力的で二時間があったという間に経過する。一方的に講義を聴くのではなく、受講者も共に参加できる形が新鮮で、受講生の意見に触発されることもしばしば。問題意識をもって考えることの重要性を改めて学んだ。次回がとても待ち遠しい!



楽しい「クルマ学」

大 淵 加 市

これほど日常生活に密着した陸上走行機械（自動車）は出現しただろうか。安全・環境の問題を考えながらもつと豊かな生活の道具として見直す必要があると思います。講座では、その歴史やクルマのある生活の進化、最近の最先端技術と話題、取りまく法、税、保険の話、自主管理の方法などをビデオや実車を見ながら学んでいます。日本の名車、世界の名車に想いを馳せ未来の車社会、クルマ生活を一緒に考えようと思えます。



◆ 楽しい「クルマ学」を受講して

水 巻 四 郎

毎日何気なく使っている車。仕事に通勤、レジャーにと何のためらいもなく走らせている。その自動車について考えてみると本当は何も知らない。そんな時にこの講座のことを目にし、これは良い機会だと思いい受講しました。これからもずっと使う便利な乗り物。良く学んで賢いユーザーになります。



俳句のA・B・C

川 井 城 子

教室はまだ二度目を終えたところ。好きな俳句について懸命に話す私に大きく頷いて下さる。睡を輝かせて下さる。そして、交わすジョークに笑いの渦が起る。まるで旧知の仲間のように十名の心が一つの輪になったような手ごたえを覚え、大感激である。それを勇気に会を進める。それは俳句の持つ不思議な魔力のお陰。心が言葉に、言葉が文字に。そして、読み手の琴線に触れ、そのハートを振幅させる。心で深く結ばれた教室になるよう、努めていきます。



◆ 俳句の世界に魅せられて

清 水 真 智 子

今さらこの歳で、このためらいを払いのけ、俳句という未知の世界に初挑戦。素敵な先生と美男美女(?) 十人の楽しい教室がスタート。わかりやすい講義の後、いざ一句。五七五の短い一行の詩なれど、なんとむずかしいことか。庭を彩る花に出会った感動や、日頃の生活の「コマ」を素直な一句に出来たらと、今日も頭をひねっている私なのです。

自遊塾十周年

ウォーキング冒険塾

10年の歩み発行・記念パーティー開催

自遊塾のスタートから活動を開始した「ウォーキング冒険塾」が十周年を記念して記念誌「10年の歩み」を発行、七月七日には、記念パーティーが開催されました。記念誌には、ウォーキングが心身の健康につながり、自然の素晴らしさも体験できる魅力や思い出など塾生からのメッセージが綴られています。

記念パーティーで、松原和仁県民教授は、「十年前にはあまり認知されていなかったが、今はブーム。ウォーキングは、身体とともに頭も使うエクセサイズであり、今後も続けていきたい。」とスピーチされました。

ウイング・ウイング高岡七階

県民カレッジ高岡地区センターでも学びの場開設

高岡駅前オープンしたウイング・ウイング高岡七階に高岡地区センターが開設されました。

その学習室を会場に、自遊塾の四講座がスタートしています。

同ビルには、高岡市の生涯学習センターや高岡市立中央図書館も入居。高岡地区センターで県営駐車場の割引手続きがうけられるほか、高岡市の生涯学習センターで手続きを取れば、市営中央駐車場の助成制度がありますので、是非一度お訪ねください。

音楽練習室や会議室などの施設も充実しています。

県民カレッジ学遊祭

今年十月十六日(土)開催

自遊塾講座多数参加

学遊祭は、県民カレッジに集う皆さんの交流・発表の場です。富山県生涯学習団体協議会、県民カレッジ友の会「雷鳥会」、

県民カレッジで開催される各種講座で学ぶ皆さんが集います。

自遊塾から多数の参加が予定されています。

ステージ発表

・らくらく気功法でやすらぎ、くつろぎ、夢「こち

・これであなとも太鼓打ち

・ジャグリングをはじめよう

・さわやかな空の下で歌いましょう

・マイ・ポエム綴る詠む

ミニ講座・体験学習

・カラー影絵をつくって演じよう

・落語ワンダーランド

・趣味の演芸・漫才・コントで舞台上に立とう

・もつと紅茶を染しみましょう

・顔ツボ押しで 3歳若く

・藤と楽しく

・心がふんわり手作り絵本

・発見!! 越中国の埋もれた歴史

作品展示

・心がふんわり手作り絵本

・紙粘土で作るかわいいお人形

・シュガークラフト

・デジカメ写真を楽しもう

・自然美の転写アート

・やさしい結びで小物を作ろう

・陶芸の世界を探る

このほか、お茶会(知事公館)や映像フェスティバルなども予定されています。

また、詩人で県民カレッジ特別客員教授の大岡信氏による講演も開催されます。

講演題は「折々のうた「こぼれ話」です。

文化勲章を受章された大岡先生から、肩肘張らない楽しいお話をお聞きする予定にしております。

どうぞ富山県教育文化会館にお集まりください。

富山県教育文化会館

〒930-0096 富山県富山市北町7-1

TEL 076-441-8403

FAX 076-441-6157

E-mail admin@kic.pref.toyama.jp

http://www.kic.pref.toyama.jp/

ご意見・ご感想、投稿などお待ちしています

県民カレッジ 自遊塾係

富山県教育文化会館

〒930-0096 富山県富山市北町7-1

TEL 076-441-8403

FAX 076-441-6157

E-mail admin@kic.pref.toyama.jp

http://www.kic.pref.toyama.jp/